

ちいきのげんきを
発信中!



第1回全国公募『丹の里ありがとう！
感謝のメッセージ』入賞作品⑱

全国から寄せられた心温まる
メッセージ349点の中から
入賞作品を紹介します。

高校入試を控えた中学3年生での不登校。
きっかけは、本当に些細なことでの、友達と
のトラブル。「こめんなさい」の一言が言えなく
て、後ろめたい自分の気持ちを見透かされてし
まうのが、どうしても嫌で・・・学校へ、足が
遠のいてしまった2ヶ月間。

父は、一言も私を責めませんでした。世間体
など全く気にせず、温かく見守ってくれた父。「お
前、いつも頑張りすぎだぞ。人間みんな、そん
なに器用じゃないぞ。休む時は、思いっきり休め」
と言った後、父が言ってくれた一言。

それが、「両手を上に上げて、のびをしてみる。
思いっきり、のびをした時にしか、つかめない
空がある」でした。

こんな優しい父の子に、生まれて来た事、本
当に幸せだと感じた私が、そこにいました。

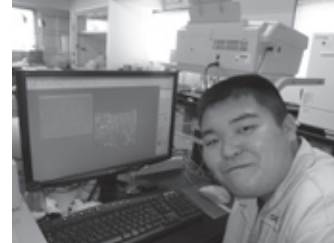
愛知県豊田市 長谷川 綾乃(15歳)

ディスカバー！丹波の きらめき企業 Vol.21

市内には、世界で活躍する企業やオンリーワンのもの
づくり企業、日本有数の優れた加工技術を持つ企業な
ど、私たち市民が誇れる魅力にあふれた企業や事業所
がたくさんあり、多くの方がそこで誇りを持って働い
ています。このコーナーでは、そんな市内のきらめき
企業や事業所をみなさんにご紹介していきます。

わが社のきらめく「丹波人」

「学生のころ、化学の授業が好きだったので入社
しました。毎日勉強に必死です」と話してくれ
たのは、生産技術チームの佐野弘明さん(21)。
その頑張りが認められ、コンピューターシステ
ムの再構築プロジェクトメンバーに選出される
など、将来を期待されています。



生産技術
チームの佐
野弘明さん
(21)



主力製品の合成樹
脂。建材や繊維、
電子部門など幅広
い分野で使用され
ています

【会社概要】

- 所在地 柏原町下小倉 960
- 電話番号 72 - 2203
- ホームページ <http://www.aica.co.jp/>
- 主な事業内容 化成系、建築材、住器建材、電子部
材製品の開発・製造・販売
- 従業員数 80人

AICA Challenge and Creation ~挑戦と創造~ アイカ工業株式会社 丹波工場

アイカ工業(株)丹波工場は、平成24年
4月に旧ガンス化成(株)と合併し、
再スタートを切りました。化学技術を
ベースとして、接着剤などの化成産
業、メラミン化粧板などの建築材事業、
ドアやカウンターなどの住器建材事業、
プリント配線板などの電子事業の4事
業を展開しています。アイカ工業の国内
5番目の化成工場の一つとして、更な
る飛躍が期待されています。

★独自の高い技術で応えます

丹波工場では、接着剤などの合成樹
脂を開発・製造しています。接着
剤といっても、単にモノとモノをくっつ
けるだけでなく、材料を合成する際に混
ぜて使用されるなど、用途はさまざま。
「用途が異なるのはもちろん、同じ商品
でも発注メーカーが違えば、求められる
使用方法や性能が変わります」と岩塚工
場長。一つひとつ成分や配合を調整し、
要望に応じた接着剤がつくられています。

す。詳細は企業秘密のため、工場見学は
NG。数年前まで、発注相手にさえ見学
はご遠慮いただくほどの徹底ぶりだっ
たのだそうです。

★私たちの身近なところにも

アイカ工業でつくられている化成産
品に、「ガンスパール」という合成
樹脂があります。樹脂の柔らかさや耐
熱性、屈折率などの物性をコントロール
できる特性をもつため、建材をはじめ
め、さまざまな分野で使われています。
なんと、国内のほとんどのファンデー
ションに「ガンスパール」が使用され
ているんです！他にも、パソコンの光
を拡散させるためのフィルムやゴルフ
ボールの弾力性をだすための材料に使
われるなど、私たちの身近なモノに活
用されています。みなさんも知らない
うちにアイカ工業の化成品の愛用者に
なっているかも!?

「第六感」



ちーたん 日記

「11月7日(水) 秋も大活躍のちーたん！」
実りの秋、行楽の秋。秋ってアクティブになれる
季節だよね。ちーたんは、丹波市以外でもたくさ
んのイベントに参加したよ。
各地のいろんな「ゆるキャラ」たちと出会ったり、そ
の地域の特徴を感じながら、丹波市をいっっぱいPR
できるように頑張っているよ!



9月17日(月) 神戸ハーバーランド
兵庫のゆるキャラナンバーワンに選ばれたよ!



9月30日(日) 朝来市「道の駅伯馬のまほろば」
ピーマン狩りなどの競技で盛り上がったよ!



9月22日(土) 三田市「観光と味覚まつり」
ゆるキャラたちとみんなでダンスしたよ



10月20日(土)、21日(日) 彦根市「ゆるキャラまつり」
日本最大のゆるキャライベントだよ!



9月29日(土) 大阪「なんばグランド花月」
よしもとのキャラクターとも仲良くなったんだ



10月28日(日) 関西国際空港「ナンバーワンフェスタ」
全国からNo.1を誇る特産品が集まったんだ

来月号の「ちーたん
日記」もお楽しみに!

みんなでまこう、ひろげよう!



嬉しい

「丹波の種」④ 「いただきます」

「ありがとうプロジェクト」の一環として、元NHKエグゼクティ
ブアナウンサーの村上信夫さんに、「ことば」の魅力がたっぷりつ
まった心に響くエッセイを連載いただきます。(全8回)

「給食費を払っているのだから、給食の時間に子どもたちに『いただきます』を言わせな
いでください」という電話が、熊本県のある小学校に入った。学
校側は、それを認めたという信
じられない話を聞いた。
岡山の天ぷら屋さんでは、「天
ぷらをお出しして、妻や子がい
ただきます」と言って食べようと
したら、金払うんだから言わな
くていいと夫が言い、家族はそ
れに何も言い返さなかったのだ
驚いた」と教えてもらった。

家族団らんのひととき、どう
して「いただきます」を言うの
か、話し合ってみたらいい。食
卓に並んだ食材の一つ一つは、
命の源だ。私たちに命を投げ出
してくれた命があるから、私た
ちは生きていられる。「あなた
の命を私が代わっていたくださ
す」・・・「いただきます」には、

そういう思いが込められてい
る。数多くの命のバトンリレー
によって、人間の命は保たれて
いる。だから、あだやおろそか
には出来ないのだ。
食べ終わった後、作り手に感
謝を込めて「ごちそうさまでし
た」。ことばは、口にすること
で想いがこもる。想いのこもつ
たことばは、想いが伝わる。



村上信夫

1953年、京都生まれ。元NHKエグゼクティブアナウンサー。2001年から11年に渡り、『ラジオビタミン』や『鎌田實いのちの対話』など、NHKラジオの「声」として活躍。この4月からは、全国を回り「嬉しい言葉の種まき」をしながら、文化放送『日曜はがんばらない』ABCラジオ『Osaka歴史ロマン』月刊『清流』連載対談などで、新たな境地を開いている。